

単元計画例

単元

4年 小数

(10時間)

目標

・小数での位を理解し、小数のたし算やひき算の計算ができる
・小数の大小を比べたり、1/100の位までのたし算やひき算の計算の仕方を考え、説明することができる
・さらに小さい小数の位について考えたり、小数の計算がどのような場面で生かせるのか、学習したこと
のよさを見いだそうとしている

時間 /課題番号	めあて	教科書ページ
1	1/100の位までの小数を用いて表す方法を理解できる	P86～87
2	・長さや重さを、小数を使って表すことができる ・1/1000の位までの小数の意味を理解することができる	P88
3	数直線を使いながら、1と0.1, 0.01, 0.001の関係を理解することができる	P89
4	・小数第1位、小数第2位といった小数の位やその位置を理解することができる。 ・ある数を”〇〇を何個集めた数”というように考えることができる	P90～91
5	小数を10倍や100倍したり、10や100でわったりしたときの仕組みを考え、説明することができる	P92
6	小数を数直線で表し、小数の大小の比べ方を考え、説明することができる	P93
7	1/100の位までの小数のたし算やひき算の仕方を考え、説明することができる	P94
8	いろいろな場合の小数のたし算やひき算を筆算で計算することができる	P95
9	課題を選たくし、学習したことを生かして問題を解くことができる	選択問題
10	「学びのまとめ」や「学びをいかそう」に取り組み、学習内容が定着しているかを確かめる	P96～97
発展課題		
発展1	将来の(今の)自分の部屋のレイアウトを考えたいと思います。部屋に置きたいものはたくさんありますが、全て置けるわけではありません。電気屋やホームセンターでものを買う前に、何を置くのか、どの位置に置くのか、ものが入りきるのかを事前に調べたいと思います。そこで、自分の部屋のレイアウト(設計図)を自分なりに考えてかきましょう。	提出 ①部屋のレイアウト図
発展2-①	日本は台風や地震が多く、最近では集中豪雨による洪水など、自然災害がよく起こります。私たちはいつ被害にあってしまうかわかりません。もし、避難警報が出されたり、自分の家に住めなくなった場合、学校が避難場所になります。学校では毎年避難訓練が行われていますが、災害はいつも学校で起こるわけではありません。また、近くに大人の人がいるとは限りません。そこで、自分一人のときに災害が起こっても、自分の身は自分で守れるようにするために、避難経路を事前に確認しておくことにしました。もし、家で一人留守番をしていたときに地震が起こり、避難しなければならなくなった場合、どの道順で学校に避難すればよいのでしょうか。一番短い経路を計算して求めてみましょう。	提出 ①地図上に記入したルート ②その計算式と答え
発展2-②	〇〇小学校で避難訓練を行うことになりました。いつもは先生の指示に従って運動場に避難しますが、一番最短で避難できる経路(道順)はどこでしょう。実際に測ったり、校内地図から、計算して求めてみましょう。	提出 ①地図上に記入したルート ②その計算式と答え
発展③	今、ごみ問題など環境問題についてよく耳にします。そこで、日本の中で、一番多くごみを出しているところはどこか調べることにしました。ちなみに、日本は、北海道、東北、関東、中部、近畿、中国・四国、九州の、7つの地方に分けることができます。地図帳のPOをみて、どの地方が一番多くのごみを出しているのか計算してみましょう。	提出 ①各地方ごとのごみの量をランキングにしたもの ②その計算式